

がん患者さんやご家族・一般市民のための
日本最大級のがんフォーラム



ジャパンキョウサーフォーラム 開催報告書



ジャパンキャンサーフォーラム

がん患者さんやご家族・一般市民のための日本最大級のがんフォーラム

8月/17 SAT

1日目

会場		研究棟 1F			研究棟 8F	研究棟 13F	
時間	会場 1 (300名)	会場 2 (100名)	会場 3 (100名)	会場 4 (40名)	会場 5 (20名)	会場 6 (20名)	
11:00	開場・受付				8F・13Fは全て予約制です。		
11:30 }	オープニング 「日本のがん情勢について」 中金 斉 国立がん研究センター 理事長 司会：後藤 倭 国立がん研究センター中央病院 休憩 12:00～12:15	肺がん 佐々木 治一郎 北里大学 坪井 正博 国立がん研究センター東病院					
12:30							
	12:15～14:00						
12:30 }	乳がん・乳がん治療の 最新情報と遺伝性乳がん 大野 真司 がん研究会有明病院 清水 千佳子 国立国際医療研究センター病院 司会：栗原 和江 埼玉新聞 編集長タワシ	共催：NPO法人肺がん患者の会 ワンステップ 子どもたちを守れ！ がん患者にできること 佐々木 治一郎 北里大学 坪井 正博 国立がん研究センター東病院 長谷川 一男 NPO法人がん患者の会 ワンステップ	共催：認定NPO法人希望の会 いま改めて知る胃がんと 治療のこと 設楽 紘平 国立がん研究センター東病院 司会：轟 浩美 認定NPO法人希望の会	共催：中皮腫サポートキャラバン隊 中皮腫 岡部 和倫 国立病院機構 山口宇部医療センター 司会：中西 頼子 中皮腫サポート キャラバン隊	12:00～14:30 協力：TeamACC 頭頸部がん 吉本 世一 国立がん研究センター 中央病院 吉村 亮一 東京医科大学 司会：浜田 勲 TEAM ACC	脳腫瘍 12:00～13:00 宮北 康二 国立がん研究センター 中央病院 司会：櫻井 卓郎 国立がん研究センター中央病院	休憩 (入替)
13:30							
14:00 }	休憩 14:00～14:30	リンパ浮腫 村田 薫 貝塚病院 (福岡) 司会：小口 秀紀 トヨタ記念病院	人生会議 佐々木 治一郎 北里大学 司会：渡辺 千鶴 医療ライター	GIST(消化管間質腫瘍) 西田 俊朗 国立がん研究センター中央病院 司会：加藤 陽子 希少がんセンター	休憩 14:30～15:00	肺がん相談 後藤 倭 国立がん研究センター中央病院 司会：長谷川 一男 NPO法人肺がん患者の会 ワンステップ	
15:00	がんナビゲーション Randal Kai Wada University of Hawaii 司会：アキ よしかわ 国際医療研究センターがんナビゲーター						
15:30 }	休憩 15:30～16:00	共催：NPO法人EW(ワリング プラス)キャンサー 乳房再建 寺尾 保信 がん・感染症センター都立駒込病院 司会：真水 美佳 NPO法人EW(ワリング プラス)キャンサー-BeC	すい臓がん 奥坂 拓志 国立がん研究センター中央病院 司会：渡辺 千鶴 医療ライター	共催：国立がん研究センター希少がんセンター 肉腫(サルコーマ) 川井 章 国立がん研究センター中央病院 司会：加藤 陽子 希少がんセンター	15:00～16:30 男性乳がん 沢田 晃暢 NTT 東日本関東病院 司会：野口晃一郎 編集記者(フリーライター)、フリーアナウンサー	休憩 (入替)	
16:30	がんサバイバーの 声を聴こう！ OverCancerTogether 川野 高志・瀬尾 雄司・坂口 菜夏 栗原 和江・緒方 佳美・稲葉 晃子 柴田 敦巨・米倉 公子・荒木 弘 大穂 那由 司会：久田 邦博・砂川 未夏 岸田 徹						
17:00 }	慢性疾患とがん 岩瀬 哲 埼玉医科大学病院	在宅と緩和ケア 秋山 正子 認定NPO法人maggie's tokyo 司会：岩城 典子 認定NPO法人maggie's tokyo		共催：国立がん研究センター希少がんセンター 希少がん 山本 昇・川井 章・西田 俊朗 国立がん研究センター中央病院 司会：加藤 陽子 希少がんセンター		再発難治性がん相談 勝俣 範之 日本医科大学 武蔵小杉病院 司会：山北 珠里 薬剤師/CNU乳がん体験者コーディネーター	
18:00							

8月/18 SUN

2日目

会場		研究棟 1F			研究棟 8F	研究棟 13F
時間	会場 1 (300名)	会場 2 (100名)	会場 3 (100名)	会場 4 (40名)	会場 5+6 (40名)	
9:30	開場・受付				8F・13Fは全て予約制です。	
10:00 } 11:00	大腸がん 志田 大 国立がん研究センター中央病院 吉野 孝之 国立がん研究センター東病院 司会：石黒 めぐみ 東京医科歯科大学医学部附属病院	認知症とがん 山口 潔 ふくろうクリニック等々力 司会：渡辺 千鶴 医療ライター	共催：NPO法人婦人科悪性腫瘍研究機構 卵巣がん 谷川 輝美 がん研有明病院 司会：小島 あゆみ ライター&エディター	共催：日本小児血液・がん学会／ 日本小児がん研究グループ 小児がん 座長：細井 創 京都府立医科大学 司会：出口 隆生 国立成育医療研究センター ダウン症候群に伴う急性骨髄性白血病 長谷川 大輔 聖路加国際病院 再発急性リンパ性白血病 荒川 歩 国立がん研究センター中央病院 ユーズン肉腫 佐野 秀樹 福島県立医科大学附属病院 ――休憩 20分―― 小児がんの子どもの在宅医療 天野 功二 おおぞら診療所しずおか	協力：がんと暮らしを考える会 障害年金の申請 石田 周平 NPO法人がんと暮らしを考える会 理事／特定社会保険労務士 司会：賢見 卓也 NPO法人 がんと暮らしを考える会 理事長、看護師、MBA	
休憩（入替）						
11:30 } 12:30	共催：日本がん免疫学会 がん免疫療法 河上 裕 国際医療福祉大学 北野 滋久 国立がん研究センター中央病院	血液がん 福田 隆浩 国立がん研究センター 中央病院 司会：福島 安紀 医療ライター	共催：NPO法人婦人科悪性腫瘍研究機構 子宮頸がん 西野 幸治 新潟大学医学部総合病院 司会：小島 あゆみ ライター&エディター		食道がん 浜本 康夫 慶應義塾大学 司会：渡辺 千鶴 医療ライター	
休憩（入替）						
13:00 } 14:00	がんと栄養 吉川 貴己 国立がん研究センター中央病院 司会：小西 敏郎 東京医療保健大学	がんロコモ 大島 和也 ベルランド総合病院 司会：橋本 佐与子 MBS毎日放送	共催：NPO法人婦人科悪性腫瘍研究機構 子宮体がん 園田 顕三 九州がんセンター 司会：小島 あゆみ ライター&エディター	腎がん 近藤 恒徳 東京女子医科大学東医療センター 司会：渡辺 千鶴 医療ライター	グリーフケア 岩瀬 哲 埼玉医科大学病院 司会：中井 美穂 アナウンサー	
14:30 } 15:30	がんゲノム 間野 博行 国立がん研究センター研究所 司会：後藤 倭 国立がん研究センター中央病院	休憩（入替） 事前予約制 15:00～17:00 共催：バイエル薬品株式会社 もっと話そう前立腺がん転移と治療中のQOLのこと 変わらない日常を続けるために 佐藤 威文 堀内 隆 佐藤 威文 前立腺がん 骨転移サバイバー 中村 和正 司会：武内 務 NPO法人患者会 理事長 浜松医科大学			胆道がん 國土 典宏 国立国際医療研究センター病院 池田 公史 国立がん研究センター東病院 司会：福島 安紀 医療ライター	
休憩（入替）						
16:00 } 17:00	がんと就労 桜井 なおみ 一般社団法人CSRプロジェクト				膀胱がん 菊地 栄次 聖マリアンナ医科大学 司会：小島 あゆみ ライター&エディター	
17:00 } 18:15	クロージング 後藤 倭 国立がん研究センター中央病院 大橋 靖雄 中央大学理工学部 橋本 佐与子 MBS毎日放送 天野 慎介 一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン 司会：中井 美穂 アナウンサー	研究棟 1F ラウンジにて開催 ●物販 ●ブース(企業、患者会、患者支援団体等) ●レモネードスタンド 研究棟 1F ホワイエにて開催 ●LAVENDER RING MAKEUP & PHOTOS WITH SMILES				

理事長からのメッセージ

キャンサーネットジャパンは、患者・家族をはじめ、すべての人々に科学的根拠に基づいた「がん情報」を届けるNPOとして活動しております。この「ジャパンキャンサーフォーラム」(JCF)は2014年から開催し、今年は、6回目の開催でした。

昨年に続き国立がん研究センターにご協力いただき、2日間を、盛会のうちに終了することが出来ました。これもひとえに、ご支援くださった皆様、参加された皆様のおかげと感謝しております。無償でご登壇くださった講師・司会の皆様、プログラム共催やブース出展、広告協賛、クラウドファンディング等でご支援いただきました企業・団体、個人の皆様、準備から当日まで裏方で頑張ってくださいましたボランティアスタッフ、そしてJCFにご参加くださった皆様に心から御礼申し上げます。

来年は10月24日(土)、25日(日)の2日間、今年と同じ国立がん研究センター築地キャンパス研究棟にて開催を予定しております。皆様お誘いあわせの上、ご来場ください。また次回も、お目にかかれまことを楽しみにしております。



岩瀬 哲 (いわせ さとる)
認定NPO法人
キャンサーネットジャパン理事長
埼玉医科大学病院 緩和医療科 教授

開催概要

開催日程：2019年8月17日(土)、18日(日)の2日間

開催会場：国立がん研究センター 築地キャンパス 研究棟

プログラム数：46(ラベンダーリング、レモネードスタンド含む)

無償でご登壇頂いた講師陣：総勢 89 名

ボランティアスタッフ：201 名

Looking Back JCF2019〈参加者・ご寄付〉

	JCF2019	JCF2018	JCF2017
参加者数	2,836 名	3,058 名	2,006 名
延べ 参加者数	4,411 名	4,707 名	4,905 名
寄付総額	2,049,703 円	649,830 円	489,800 円

収支報告

収入の部

項 目	金 額	摘 要
参加費	0	入場料無料
ブース出展費	3,192,000	13 社(患者会・支援団体は無料)
プログラム冊子広告	2,268,000	10 社
共催プログラム	4,261,225	12 団体
JCF クラウドファンディング	1,129,000	7/11～8/18 GoodMorning
寄付	920,703	8/17～8/18 当日寄付含む
自己資金	1,227,774	
(収入 計)	12,998,702	

支出の部

項 目	金 額	摘 要
1. 事前準備関係費	8,398,307	
(内訳) 事前準備関係費	6,052,029	事前準備スタッフ 13 名(常勤・パート含む) 関係費
WEB サイト制作更新費	1,113,669	特設サイト制作、サーバー、アップデート作業等
印刷物制作費	464,528	フライヤー・ポスター等のデザイン印刷費
会議費	217,993	事前打合せ交通費含む
通信費	151,500	招聘状、開催告知フライヤー発送等
広報費	398,588	広報費
2. 当日運営関係費	3,341,947	
(内訳) 会場費	0	無償での提供
会場設営費	562,260	会場レンタル備品、展示設営費等
当日配布物セット	496,968	当日プログラムほか配布物等印刷費
運営関係費	2,233,519	業務委託費、宿泊費、交通費・演者スタッフ水・弁当等
演者・司会・ゲスト謝礼	0	無償でのボランティア協力
保険料	49,200	
3. 事後処理費	829,662	アンケート集計・報告冊子作成配布・動画作成公開等
4. 雑費	428,786	振込手数料等含む
(支出 計)	12,998,702	

Wonderful Support

皆様のご協力で開催ができています。
この場を借りて御礼申し上げます。

ジャパンキャンサーフォーラムに携わっていただきました講師・司会・運営ボランティアの皆様に深く感謝いたします。
また、今年はクラウドファンディングでこのフォーラムが継続して開催できるよう、たくさんの方に寄付や拡散でのご協力・ご支援をいただきました。引き続き、寄付・景品・ブース出展・協賛・共催・広告のご支援にもご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



寄付返礼品・サンプル配布

3,000 円以上の寄付をしていただいた方に景品抽選コーナーを設け
2 日間で 50 名以上の方にお立ち寄りいただきました！

味の素株式会社 | エーソーケア株式会社 | メディデータ・ソリューションズ株式会社



共催

日本がん免疫学会
バイエル薬品株式会社
中皮腫サポートキャラバン隊
一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会事務局
スキルス胃がん患者 家族会 認定NPO法人 希望の会
一般社団法人日本リンパ浮腫学会

NPO法人婦人科悪性腫瘍研究機構
NPO法人日本小児がん研究グループ
一般社団法人日本小児血液・がん学会
NPO法人肺がん患者の会ワンステップ
NPO法人エンパワリングプレストキャンサー／E-BeC
国立がん研究センター 希少がんセンター



特別協力

LAVENDER RING MAKEUP & PHOTOS WITH SMILES (supported by SHISEIDO)

広告協賛

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社
金原出版株式会社
株式会社コルボ
セルジーン株式会社
株式会社バル・オネスト

アステラス・アムジェン・バイオファーマ株式会社
ヤンセンファーマ株式会社
アッヴィ合同会社
株式会社 HP (エイチビ)
ラボコープ・ジャパン合同会社



ブース出展

53 団体の皆さんにブース出展いただきました。
今年も患者さんやご家族、支援団体の交流の場として大変賑わいました。

日本イーライリリー株式会社
グンゼ株式会社
コロプラ株式会社
テルモ株式会社
がん情報サイト「オンコロ」

株式会社メディコン
リーズンホワイ株式会社
株式会社 STSP (カマエイド)
ロコモ チャレンジ！推進協議会
ラボコープ・ジャパン合同会社

株式会社 HP (エイチビ)
PT PLUS
株式会社東京義髪整形



認定 NPO 法人がんサポートコミュニティ
NPO 法人脳腫瘍ネットワーク
みんなでつなげる乳がん患者会 ASHARE
公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン
神奈川骨髄移植を考える会
メラノーマ患者会 OverTheRainbow
NPO 法人患者スピーカーバンク
一般社団法人キャンサーベアレンツ
腎がん患者と家族の会 そらまめの会
NPO 法人キープ・ママ・スマイリング
NPO 法人エンパワリング プレストキャンサー /E-BeC
みんなのレモネードの会
TEAM ACC

頭頸部がん患者と家族の会 Nicotto >
若年性乳がんサポートコミュニティ Pink Ring
NPO 法人 がんノート
ドヤフェス実行委員会
しあわせです♡感謝グループ
東京大学医学部附属病院 外見ケアグループ
リボンスケア umi と仲間たち
NPO 法人ふくりび
一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン
がんフォト*がんストーリー
精巣腫瘍患者友の会 (J- TAG)
NPO 法人腺友倶楽部
胸腺腫・胸腺がん患者会 ふたつば

肉腫(サルコーマ)の会 たんぽぽ
公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ・ジャパン
公益財団法人日本対がん協会 がんサバイバー・クラブ
旭くん光のプロジェクト× JCCG
認定 NPO 法人 maggie's tokyo
一般社団法人 ピアリング
認定 NPO 法人健康と病いの語りディベックス・ジャパン
認定 NPO 法人 ジャパンハート
スキルス胃がん患者 家族会 認定 NPO 法人 希望の会
男性乳がんの会 メンズ BC
主治医に言うほどではないけどなんか、モヤモヤ～な方、集まりませんか？の会
BEC/CIN 同窓会ブース
ダカラコソクリエイト
NPO 法人がんと暮らしを考える会



Volunteer

今年は、通常のボランティア募集とは別に企業からの労務提供と専門学校とのコラボレーションを実施し、例年より多く、運営ボランティアの協力が得られました。労務提供で参加された方からは「製薬会社のメンバーは会場運営に慣れていますのでお役に立てるようになります。」とコメントをいただきました。おかげさまで、昨年深刻であった会場内外でのスタッフ不足を解消することが出来ました。ここに厚く御礼申し上げます。



LAVENDER RING MAKEUP & PHOTOS WITH SMILES supported by SHISEIDO

今年もラベンダーリングのがん患者さんのメイクアップ&フォトプログラムを開催し、2日間で35組の方に参加いただきました。さらにこれまで撮影した200枚のポスターを会場に展示しました。また、今回はがんサバイバーががんになってから、かけられてうれしかったことばで作成した「うれしかるた」のコーナーも設置。たくさんの方の来場者が足を止めていました。



小児がん・AYA がん支援のレモネードスタンド

今回は、レモネードスタンドの意味や目的をCNJスタッフと学生ボランティアとが話しながらレモネードスタンドを行いました。参加したボランティアも笑顔でレモネードスタンドを行うことができました。また、今年は事前に職場体験にきた中学生に「小児がんとは？」という課題でパネルを作っていただきました。この課題のパネルの前でレモネードスタンドを開催し、来場者やボランティアスタッフにもわかりやすいと好評でした。“みんなのレモネードの会”会長の榮島四郎さんや、一般参加者の男の子も飛び入りで体験してもらい「レモネードいかがですかー!」と大きな声を出しフロアを歩いてくれました。JCF開催の2日間で約800杯を配布し、161,658円の寄付が集まりました。ありがとうございました！



Many thanks.

後援：厚生労働省、東京都、中央区、国立がん研究センター

協力：国立がん研究センター築地キャンパス 研究棟 | hamapro | 山本華漸 | AKANE |



第1会場

オープニング セッション



オープニングセッションでは国立がん研究センター理事長の中釜齊先生にご登壇いただき、「日本のがん対策と国立がん研究センターの取り組み」とについて日本のがん対策の歩みから現在のゲノム医療に至るまでご講演いただきました。

クロージング

今年のクロージングセッションは2018年CNJ理事に就任したフリーアナウンサーの中井美穂さんの司会で始まりました。最初に中央大学人間総合理工学学科生物統計学教授の大橋靖雄先生が、「がん患者の求めている情報が伝わらない! 医薬品の広告規制による問題」というテーマで薬機法*による広告規制について問題提起し、これまで開くことのなかったパンドラの箱を開けました。続いて国立がん研究センター中央病院呼吸器内科の後藤悌先生が「がんの正しい情報を得るために」というテーマで、情報の正しさとは何か、また海外や日本の学会の取り組みについて紹介しました。

* 薬機法 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（医薬品医療機器等法）



第2会場

リンパ浮腫



一般社団法人日本リンパ浮腫学会との共催で、理事長の北村薫先生よりご講演いただきました。リンパ浮腫の歴史は、浮世絵にも描かれていたように古くから存在していたというお話から始まりました。その後、肥満の方はリンパ浮腫になるリスクが高いため体重管理が重要であること、運動をすることが術後でも効果的であることがわかってきており、それらの予防指導がまず大切であることを話されました。そして、リンパ浮腫が起こる原因としては、感染症、原発性、がんの治療（手術、化学療法、放射線療法など）が考えられており、リンパ浮腫が発生した後は、病棟での複合的治療、運動療法、食事療法を続けることが必要になることを説明されました。早期発見、早期対応で最小限の状態が望めるということ話をされた北村先生に、会場からは、弾性ストッキングで圧迫を続けた方がよいか、病院のどこへ行けば治療が受けられるのかなど具体的な質問が数多く寄せられていました。

キャンサーナビゲーション

今回 JCF では初めて、海外から医師を招聘し、ハワイ大学カピオラニ・メディカルセンター小児科・看護科准教授のランドル K. 和田先生にハワイで行われているキャンサーナビゲーションについてお話いただきました。司会、通訳は自身も大腸がんの治療をハワイと日本で受けられ、治療中にハワイでキャンサーナビゲーターの資格を取られたグローバルヘルスコンサルティング会長のアキ・よしかわさん。会場には米国のキャンサーナビゲーターの仕組みに関心のあるピアサポーターなどが参加しました。キャンサーナビゲーターは、がん患者に立塞がる多くの障壁を乗り越えられるよう、1対1で予防からサバイバーシップ、終末期までの全領域をカバーし、タイムリーに検診、診断、検査、治療を受けることができるように、助言と支援をします。キャンサーナビゲーターが、自身の仕事の範囲を知り、職業的境界を守らなければならないことについても詳しく話してくださいました。キャンサーナビゲーションは、元はがんに罹った貧困層の為に生まれたが、今では貧富に関わらず、患者と医療機関の双方にとって役に立つ仕組みであり、患者にとってよりコーディネートされ、プロトコールに沿って均てん化された医療の実現と、アウトカムの向上を促します、とまとめられました。

定められた役割: ナビゲーターは仕事の範囲(scope of work)を知り、職業的境界(professional boundaries)を守らなければならない

Do

- 患者が意思決定のために必要な診断結果と治療方針に関する情報を取得できるように支援する。
- 患者が必要としている情報源、サービス、カウンセリングを紹介する
- 家族の役割を考える
- 診療予約をコーディネートする
- 役に立つサービスなどを紹介する
- 患者が受診記録を整理して保管できるように指導する

Don't

- 患者に診断結果を伝える事
- 患者を診断する事
- 患者から恋人や母の代役として依存されるような存在にならなければならない。
- 家庭内の紛争に巻き込まれたり、解決しようとしてはいけない。
- 患者・患者の家族から直接に支払いを受けてはならない。
- 患者の代わりに家賃、食費、交通費、チャイルドケアなどの支払いを行ってはならない。
- 患者のカルテを保管してはならない。

乳房再建



NPO 法人エンパワリングブレレストキャンサー (E-BeC) 共催の「乳房再建」は、がん・感染症センター都立駒込病院の寺尾保信先生にご講演いただきました。現在、日本で保険適用されている乳房再建に使われるエキスパンダー（組織拡張器）の一部がリンパ腫の発症についてハイリスクだということが判明したため自主回収され使えなくなった報道があったことを受けて、最初に、「プレスト・インプラント関連未分化大細胞型リンパ腫」について詳細に解説いただきました。寺尾先生は、シリコンインプラントの安全性という観点から、インプラントを挿入後の方には1年毎の定期検査を、挿入後10年を超えたらシリコンを入れ替えることの必要性を訴えられました。何より、不安に思ったら病院に行きたくて、そして、乳房再建は技術も進み選択肢も広がり、自分にとっての理想を考えることと医療者の治療の理想をもとに治療法を選択していくことが大切だと話されました。定員をはるかに超えた参加者の思いが会場にあふれていました。



第2会場

もっと話そう前立腺がん転移と治療中のQOLのこと

バイエル薬品株式会社共催の前立腺がんのセッションは第2、第3会場の仕切りをはずし、定員200名の会場で開催しました。当日は193名の方が参加しました。このセッションはJCFでは初めて、アンサーパッドを使用したアンケートを実施しました。アンケート結果がリアルタイムでスクリーンに映し出されるため、会場でも様々なアクションが見られました。

講演では最初に佐藤威文前立腺クリニック院長の佐藤威文先生が、前立腺がんの疫学から、骨転移のある前立腺がんの治療について話され、続いて浜松医科大学の中村和正教授が「転移の早期発見・治療のために放射線のできる」というテーマで話をされました。中村先生は、「足に力が入らないなどの麻痺の症状が出たら我慢せずにすぐに主治医に連絡して病院へ行くように。麻痺が固定したら治りに

くい。」と注意を促しました。

また、前立腺がんが転移している場合、骨への転移が多いことから、実際に50代で骨転移を経験している堀内隆さんが「治療と向き合う上で大切なこと」というテーマで話されました。堀内さんが体の痛みを訴え病院へ行ったときはすでにステージ4の前立腺がんでした。「自分は登山や旅行が好きで、治療が一段落するとご褒美で行くことにしている。骨転移があるので注意が必要ですが、医療者と上手にコミュニケーションをとり、自分自身も強い気持ち、覚悟をもって生活しています」と話しました。

後半のQ&Aディスカッションでは、NPO法人腺友倶楽部理事長の武内務さんが進行をし、参加者からの多くの質問に回答いただきました。

第3会場

人生会議

「人生会議」(ACP: Advance Care Planning) について北里大学医学部の佐々木治一郎先生を講師に迎えました。「人生会議」のそもそもの発想は、終末期にある患者さんの約70%において意思決定が不可能であると報告されたこと。意思決定能力低下に備えて、個々の治療やケアの選択、日常生活の具体的な目標をはっきりさせる取り組みを続けていくことを指します。対象は健康な成人と病気を患った患者の2種類があること、話し合いをするタイミングは難しく、個人の主体的な取り組みによってなされるべきものであるとお話を頂きました。具体的な内容に及ぶと、参加者それぞれが考え、真剣に耳を傾けていました。



第4会場

小児がん

日本小児血液・がん学会、日本小児がん研究グループとの共催で開催され、京都府立医科大学の細井創先生を座長、国立成育医療研究センターの出口隆生先生を司会に迎え、小児がんの中から4つのテーマについて講演をいただきました。ダウン症候群に伴う急性骨髄性白血病について聖路加国際病院の長谷川大輔先生、再発急性リンパ性白血病について国立がん研究センター中央病院の荒川歩先生、ユーイング肉腫について福島県立医科大学付属病院の佐野先生よりそれぞれ最新の情報を織り交ぜながらご講演いただき、あおぞら診療所しずおかの天野功二先生より子どもの在宅医療の現状と課題についてご講演をいただきました。総合Q&Aでは治験や在宅医療についてお話しいただきました。



第5会場

頭頸部がん

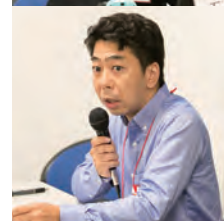
頭頸部がんとは頭頸部領域にできる悪性腫瘍の総称であり、その種類は非常に多く、原因や治療法、予後が異なるのが特徴です。国立がん研究センター中央病院の吉本世一先生より8つの部位の標準治療など、わかりやすく解説をいただき、東京医科歯科大学の吉村亮一先生より放射線治療について最新情報も交えてご講演をいただきました。事前に参加者の皆様からいただいた質問にも、TEAM ACCチームリーダーの浜田勲さんの司会で先生方にお答えいただきました。



第5+6会場

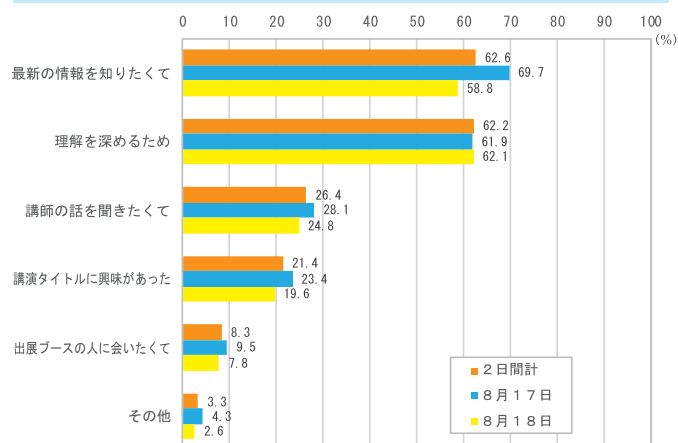
がん患者の障害年金

意外と知られていない障害年金。このセッションでは「がん患者の障害年金」を中心に、石田周平さん(NPO法人がんと暮らしを考える会理事・特定社会保険労務士)より詳しくお話しいただきました。まずは、どんな時にどのような社会保険制度が使え、何処へ申請すればよいのか?それには「制度の内容を知る」「支給要件を満たす内容を知る」「申請をする」以上の3つが揃う必要がある事を知っている事がとても重要となります。申請には一文で済むほど簡単な内容ではなく、がんの場合の認定基準などかなり詳細な要件を満たす事が求められます。困った時は専門家に相談するのも一つの手です。会場からはケースに応じた質問が寄せられ共有出来る内容も多い事から「大変参考になった」との感想をいただきました。

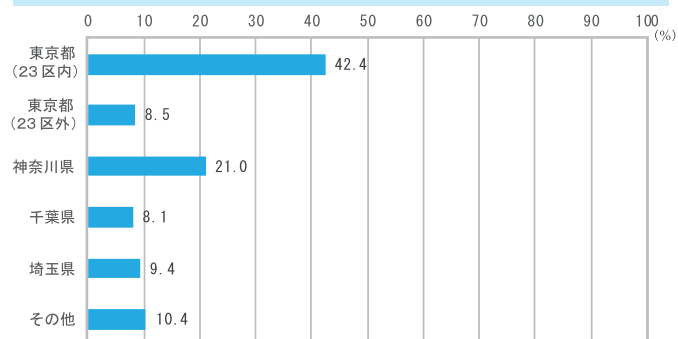


JCF 2019 Survey Result

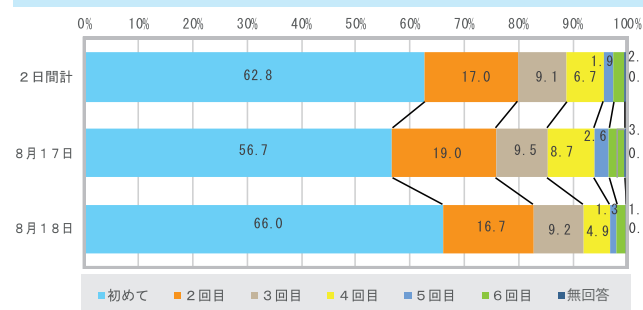
JCF 2019に参加した理由



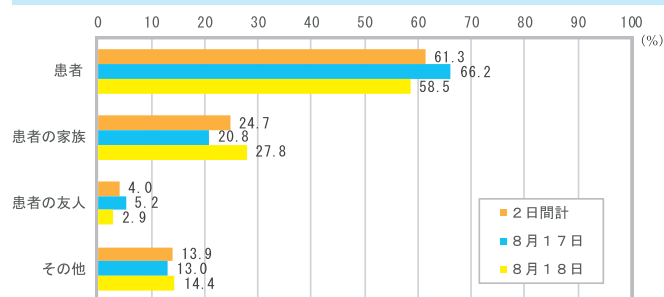
お住まいの地域



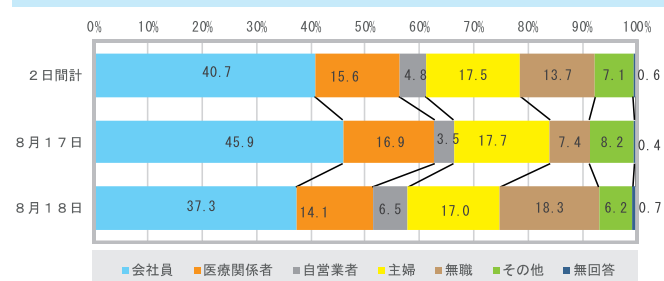
JCFの参加状況



お立場



職業



たくさんのご意見 ありがとうございました。

お疲れさまでした。体験談を話された登壇者の方々とはとても力強く生きていらっしゃるという印象を持ちました。出展ブースの方々も、いきいきとしていらっしゃいました。仲間がいることは、背中を押してくれますね。「運動していますか」の一言は、刺さりました。できることから始めたいと思いました。罹患したからこそ分かること、困り感を減らしたいという思いで、皆様活動していらっしゃるのだらうと思いました。

非常に充実しており、患者さんの役に立つ情報が満載でした。NPO主催であれだけの規模のシンポジウムは今まで参加したことがありませんでした。医師とメーカーの関係とは違い、「NPOが主催」という所に意義があると思いました。偏りのない正しい情報を患者さんに伝えることで、医師側、患者さん側双方にメリットがあると感じました。

様々ながん、テーマを扱っていて、貴重な話を聞くことができ、よかったです。ブースで団体や企業とのつながりや情報が得られてよかったです。こうしたイベントを開催して下さい、ありがとうございます。自分も今度ボランティアとして関わられたらと思います。

最新の情報が得られ、とても参考になりました。まだまだ分からない事が沢山あるので、来年も勉強をしに来たいと思いました。講師の先生方も、最新の研究をされている方ばかりで、内容についてとても満足しました。

最新の治療を知れ、患者さんの質問にも答えて下さり、総合的に学べるこの企画は素晴らしいです。私は看護師として、とても勉強になりました。

JCF2020 は、2020 年 10 月 24 日(土)・25 日(日) 国立がん研究センター築地キャンパス研究棟で開催決定！